

第 5 回 三豊市就学前教育・保育検討委員会 会議録

日 時	令和 7 年 3 月 19 日（水）午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
場 所	三豊市役所危機管理センター201・202 会議室
出 席 者	【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】10 名 松井 剛太、常田 美穂、田井 清、白川 久美子、野田 和也、松岡 瑞穂、藤田 佐枝、山本 明代、白川朋果、藤根 直身（敬称略・順不同） 【事務局関係職員】8 名 健康福祉部 田中部長 保育幼稚園課 橋村課長、森GL、富田、石川、大平 教育委員会事務局 開口部長 学校教育課 内田課長
欠 席 者	【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】0 名
傍 聴 者	0 名
会議次第	1. 委員長あいさつ 2. 議事 （1）パブリックコメントの実施結果について （2）「三豊市就学前教育・保育総合計画」中間見直し〔原案〕について 3. その他 4. 閉会
会 議 概 要	
開 会	
事務局	本日はご多忙の中、第 5 回三豊市就学前教育・保育検討委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今より会議を始めさせていただきます。出席委員数の報告をさせていただきます。 本日の会議は、委員 10 名に対して 10 名のご出席をいただいております。三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第 6 条第 2 項の規定により、会議が成立することをご報告させていただきます。 なお、松井委員と常田委員はリモートでの参加となります。 初めに委員長の松井委員からあいさつをいただきます。
1. 委員長あいさつ	
委員長	<あいさつ> 委員長の松井です。今日が最後の委員会となります。最後まで余すところなく議論いただけたらと思います。

事務局	<議事録作成> 今回の会議に関しては、議事録を作成いたします。議事録については、「三豊市付属機関等の会議の公開に関する指針」第 10 条及び第 11 条の規定により、原則公開いたしますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。 また、同指針第 3 条の規定により、付属機関等の会議は公開するものとなっており、傍聴者を募集したところ、希望はなかったことを併せてご報告いたします。 では、議事に入らせていただきます。議事につきましては、三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第 5 条の規定により、「委員長が会務を総理すること」とされていますので、ここからの進行は、松井委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
2.議事	
審議事項	
委員長	1.パブリックコメントの実施結果についてお願いします。
事務局	・パブリックコメント実施結果について説明
委員長	ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等はございませんか。
A 委員	パブリックコメント提出意見にあるように、豊中町の特色として公立保育所は 0 歳児から 2 歳児まで 18 時 30 分までこどもを預かることができるが、3 歳児から公立幼稚園に通うようになり 18 時までの預かりとなる。豊中町だけでなく幼稚園をできるだけ早く認定こども園へ制度移行してほしい。
事務局	幼稚園や保育所といった施設類型によって預かりの時間が異なることが保護者へ負担となっていることは承知している。公立幼保連携型認定こども園の整備に向けてスピード感をもって対応していきたい。
委員長	ほかにはいかがでしょうか。 なければ 2.「三豊市就学前教育・保育総合計画」中間見直し〔原案〕についてお願いします。
事務局	・三豊市就学前教育・保育総合計画中間見直し〔原案〕について説明
委員長	ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等はございませんか。今回最後の会議となるので、委員一人ずつご意見をいただきたいです。

B 委員	三豊市の保育について、一年間考える会に参加できて大変勉強になった。三豊市らしい保育について今後も考えていけたらと感じた。幼保が一緒になって研修を行ってきて今年で 16 年が経過するが、三豊の保育の土台がしっかりしてきていると感じている。幼稚園の現状では、小規模園が増えていて課題も多い。山本幼稚園は 18 時 30 分までの預かりの体制だが 2 人担任制をとっているが、保育士自身も子育て世帯である。保育士自身の家庭環境が悪いと保育にも影響が出てくるため、保育士の働き方について行政にも検討していただきたい。
C 委員	就学前教育・保育の課題と小学校の課題はよく似ている部分もあると感じた。個別化をどうするかといったことや集団との関係性をどうしていくかといった課題は共通しているし、小学校にはない課題に取り組んでいるということも知ることができた。
D 委員	会議に参加する中で、公立と私立との違いについて学ぶことができた。幼稚園や保育所から認定こども園へ制度移行したときに、1 号認定のこどもと 2 号認定のこどもが入り混じった生活というのはどういうものになるのか不安があったが、こども自身は柔軟に対応している。幼稚園、保育所、認定こども園の差はあるが、保護者の立場としては 18 時 30 分までこどもを預かってくれるほうが良いが、保育士の職場環境も大切。
E 委員	幼稚園や保育所、認定こども園といった施設の違いがあることを知らなかったのが知ることができて良かった。子育て世帯は自分が住んでいるまちの情報を知りたい。今後アプリケーションが導入されると聞いて楽しみにしている。
F 委員	適正規模適正配置の会議に参加した際は、幼稚園は幼稚園、保育所は保育所といった会議だったが、この検討委員会は、融合されて三豊の教育・保育について考えていけるような会議だったと思う。この会議を通じて保護者はしっかりとこどもについて考えていると感じることができた。小規模な園の修了式に参加したが、少人数の環境でもこどもはしっかりと育っていると感じた。国際バカロレア教育の説明会に参加したが、こどもが課題を持って自分で解決していくような教育についての内容だったが、就学前教育・保育とつながっていると思う。
G 委員	パブリックコメントで提出された意見は保護者の実感だと思う。保護者と保育施設が一体となって相談しながら子育てをしていくことができる環境が三豊市でできたら良いと考えている。豊中幼稚園だけでなく市内の幼稚園が認定こども園となっても良いのではと思う。

H 委員	5 年前と比べると三豊の保育環境は大きく変わり、保護者の意識も変わっている。認定こども園では預かりの時間がこどもによって違っているが、こどもたちはまったく気にしていない。大人は心配しているがこどもはしっかり育っている。公立と私立の垣根が三豊ではあるが、公立私立の区別なく施設間の連携ができていったら良いと感じている。
A 委員	10 年前と比較すると保育環境は良くなってきている。幼稚園や保育所といった施設による違いがあるので、認定こども園を整備していくことは賛成だけれども、幼稚園には幼稚園の特色がある。保護者が施設を選択できる環境も必要であると感じるので、幼稚園も残してもらいたい。
副委員長	こどもの人数が減少していくのに合わせて予算を縮小するのではなく、少ない人数にもたっぷりの予算を充てていくような体制をとってもらいたい。幼保が一体となってきて、今後は公立私立の区別もなく、どの種類の施設を利用しても三豊の教育・保育を受けることができる体制を作っていくことが大事。親も子も保育者も幸せになれるような体制づくりが大切。一番大事なこどもの育ちに関しては、集団の中で友達がモデルになれるようなそういう意味での適正規模という考え方が大事だと考える。一方でひとりひとりの育ちという観点でいくと、目配り気配りが可能な保育者の人数も必要になるし、どの施設に通っていても小学校への学びにつながっていくというところでの連携も必要になってくる。保育者に関しては、安心して働ける環境がとても大事。時間面や給与面といった部分を充実させることで安心した職場環境になると良いと思う。保育者の確保のためにもその部分に予算を充てて欲しい。
委員長	ありがとうございました。私からも少し申し上げたいです。先ほど垣根をなくしてというお話があったかと思いますが、公立私立や施設種ももちろんですが、P22 に中学校までの連携を記載しています。小中といったところを見据えていったときに、就学前のどの部分を中学校まで大事にしていくかという理念といった具体的な部分の明示はされていないです。そういった理念についても議論できたら良かったかなと思っています。それは「ななつのたから」の見直しにも関連してきますが、今回は大きな計画の見直しということで、今後はこの計画に基づいて別の部会で具体的な案が議論されていくものと思います。 もうひとつ、垣根というところできくと、市外の者からすると旧町の区分で語られることが多いと感じています。旧町という考え方ももはや考え直す時期に来ていると思います。町単位といった考え方も必要な部分はありますが、そのことが制限になっていることもあると思います。三豊全体を考えていく中で、柔軟な意識を持って考えていくことも重要かなと思いました。 人材確保についてですが、非常に重要になってくると思います。ある研究によると2 つポイントがあると言われていて、1 点目が保育者志望の方々は中学校までに志

	望を固める方が多い、2点目がメディアの影響よりも親族の影響が強いというものです。保育という職種はメディアだとネガティブキャンペーンのように報道されていますが、こどもはメディアから直接影響を受けているのではなく、むしろメディアに影響を受けた大人によって影響を受けているということだと思います。保育者の確保を考えると、保育者の仕事に対して、良い仕事だと思えるかどうかということが、後々に繋がっていくことだと思います。 他にはいかがでしょうか。なければ事務局へ進行をお返しします。
3. その他	
事務局	・今回で最後の会となる。一年間ありがとうございました。
事務局	閉会にあたって、健康福祉部長の田中より、挨拶申し上げます。
(部長)	(あいさつ)
閉 会	
事務局	それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終了させていただきます。 本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。